

下記の質問は、ひきこもり状態にある方（以下、ご本人）の現在、もしくは過去3カ月以内（別居の場合、あなたが知りうるかぎり最近）の様子をお尋ねするものです。「全然ない：0」から「よくある：3」のうち、もっとも当てはまる数字1つを選択してください。ご本人には無関係だと思われる質問であっても、すべての質問について答えて下さい。

	全然ない	あまりない	ときどきある	よくある
1. 達成感の得られることをする	0	1	2	3
2. 目標に向けた取り組みをする	0	1	2	3
3. 力を貸してくれるように家族以外の人に頼む	0	1	2	3
4. 理想に近づくために努力する	0	1	2	3
5. 他者を遊びに誘う	0	1	2	3
6. 就学や就労のための準備を避ける	0	1	2	3
7. 社会参加をする	0	1	2	3
8. 家族との話し合いに応じる	0	1	2	3
9. 他者と会話をする	0	1	2	3
10. 他者と交流する場に行く	0	1	2	3
11. 家族以外の人に話しかける	0	1	2	3
12. 他者と会うことを避ける	0	1	2	3
13. 社会参加のために苦手なこともする	0	1	2	3
14. 理想的な生活に向けて取り組む	0	1	2	3
15. 自分の気持ちを家族以外の人に伝える	0	1	2	3
16. 仕事・学校に行くのを避ける	0	1	2	3

	全然 ない	あまり ない	ときど きある	よく ある
17. 他者と遊びに出掛ける	0	1	2	3
18. 呼び掛けに応じて外出する	0	1	2	3
19. 家族に話しかける	0	1	2	3
20. 仕事・学校に行く	0	1	2	3
21. 自分が楽しめる活動をする	0	1	2	3
22. 自ら外出する	0	1	2	3
23. 自分の気持ちを家族に伝える	0	1	2	3
24. 力を貸してくれるように家族に頼む	0	1	2	3
25. 就学や就労に必要な情報を集める	0	1	2	3
26. 自分の欲しいものを買うために外出する	0	1	2	3

引用元

Nonaka, S., Shimada, H., & Sakai, M. (2018). Assessing adaptive behaviors of individuals with hikikomori (prolonged social withdrawal): development and psychometric evaluation of the parent-report scale. *International Journal of Culture and Mental Health*, 11, 280-294. <https://doi.org/10.1080/17542863.2017.1367411>

4因子 26 項目

得点範囲：0～78 点

逆転項目：項目 6, 12, 16

他者交流（14 項目）：項目 3, 5, 7, 9, 10, 11, 13, 15, 17, 18, 21, 22, 25, 26

家族（4 項目）：項目 8, 19, 23, 24

価値（4 項目）：項目 1, 2, 4, 14

社会参加（4 項目）：項目 6, 12, 16, 20

平均値と標準偏差（いずれも親回答）

	ひきこもり状態にある人	過去ひきこもり状態にあった人	ひきこもりを経験していない人
合計得点	平均値 21.52 標準偏差 12.60	平均値 46.52 標準偏差 15.67	平均値 55.58 標準偏差 13.65
他者交流	平均値 10.25 標準偏差 7.47	平均値 24.35 標準偏差 8.96	平均値 29.04 標準偏差 8.21
家族	平均値 5.89 標準偏差 3.49	平均値 8.16 標準偏差 2.96	平均値 8.71 標準偏差 2.62
価値	平均値 3.60 標準偏差 2.82	平均値 7.00 標準偏差 2.89	平均値 8.24 標準偏差 2.70
社会参加	平均値 1.79 標準偏差 2.44	平均値 7.01 標準偏差 3.28	平均値 9.59 標準偏差 2.21

引用元

Nonaka, S., Shimada, H., & Sakai, M. (2018). Assessing adaptive behaviors of individuals with hikikomori (prolonged social withdrawal): development and psychometric evaluation of the parent-report scale. *International Journal of Culture and Mental Health*, 11, 280-294. <https://doi.org/10.1080/17542863.2017.1367411>